

# 第二十二回 石井十次賞募集要領

『石井十次賞』にふさわしい人

または団体を推薦して下さい。



我が国における社会福祉事業の先駆者石井十次は、一八六五年（慶応元年）宮崎県高鍋町に生れ、一九一四年（大正三年）世を去るまで三千名を超す孤児の教育に生涯を捧げ、孤児の父として尊敬されております。世界の平和と人類の福祉をめざして、国際的役割と責任が求められていますとき、物は得たが心を失つたともいわれる今日ほど、石井十次の人類愛と社会奉仕の崇高な精神を、認識し復興すべきときはないと思います。このような状況のなかで、児童福祉に貢献し、石井十次の精神にふさわしい業績のある奉仕者を表彰し、我が国に於けるボランティア精神と、社会福祉に対する国民意識の高揚を図るために「石井十次賞」を贈り顕彰します。

## ◎主　旨

わが国児童福祉事業の先駆者である石井十次の人類愛と社会奉仕の崇高な精神と実践を継承、発展させることを目的として「石井十次賞」を贈る。

## ●対象となる業績

- 一、児童福祉法第七条に規定するすべての施設を対象とする。施設・個人・団体
- 二、永年にわたり児童福祉事業の領域において、優れた業績をあげている施設、個人、団体。
- 三、児童福祉事業の実践に寄与する優れた調査、研究等の業績をあげた個人、団体。

## ●推薦方法

### 一、推薦者

- 都道府県、政令指定都市の社会福祉協議会会長
- （公財）石井十次顕彰会理事長が委嘱した推薦者
- ホームページ

### 二、別紙推薦書

- 都道府県、政令指定都市 各一件

## ●推薦期日

一、期　日　　令和四年十二月二十八日（水）  
(当日消印有効)

## ●賞

〔石井十次賞〕　　一件  
　　副本賞　　〔賞状〕及び〔楯〕  
　　副賞　　〔一〇〇万円〕

## ◎その他

\*受賞者の功績を広く全国に紹介します。

\*くわしくは、公益財団法人石井十次顕彰会へお問合せ下さい。

一、発表式  
　　令和五年三月 下旬  
二、贈呈式  
　　令和五年四月 上旬  
　　高鍋町にて

## ◎推薦先

〒八八四一〇〇六

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江八一三番地  
(高鍋町教育委員会内)

公益財団法人 石井十次顕彰会

## ◎選考委員

（五十音順）

國際医療福祉大学 教授	大熊 由紀子 氏	宮崎県社会福祉協議会 副会長	川野 美奈子 氏	東日本国際大学 教授	菊池 義昭 氏	元 厚生事務次官 黒木 弘氏	社会福祉法人恩賜財団済生会 会長	潮谷 義子 氏	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長	高岡 康行 氏	一般財団法人長寿社会開発センター 理事長	高安 茂氏 氏	宮崎日日新聞社 代表取締役会長	川島 久氏 氏	社会福祉法人共生会 理事長	福島 雄氏 氏	（名譽選考委員）
都道府県、政令指定都市 各一件	高鍋町	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	高安久氏 氏	（名譽選考委員）

TEL ○九八三一三一四三一二  
FAX ○九八三一三一四三一二

# 審　查　基　準

石井十次先生の精神が生かされていることを  
重点に次のとおり設定しました。

- 1 児童を 育て・学ばせ・働くの 3 点を  
みたしていること。
- 2 児童を養育する施設・地域における子育て  
支援などに顕著な実績を修めていること。
- 3 児童福祉事業の実践に寄与する優れた調査、  
研究等の業績をあげていること。
- 4 期間、15 年以上継続していること。

# 第32回石井十次賞候補者推薦書

## (1) 推 薦 者

機関または推薦団体	
推薦者の氏名 または 推薦団体の代表者氏名	(印)
連絡先・電話番号	(〒 — ) (TEL — — — )

## (2) 受賞候補者(個人・団体)

氏名または団体名	ふりがな
団体の場合は 代表者名	ふりがな
生年月日 (団体は設立年月日)	明治・大正 昭和・平成 年 月 日 ( 歳)
居住(所在)地	(〒 — ) (TEL — — — )
事歴  推薦理由に係る 経歴、または団体 設立の経緯、 活動経過 等	

(3) 推薦の理由（功績等）

推薦理由	
推薦理由と なった業績等の 具体的な説明	
その他参考と なる事項	
添付する参考 資料等の目録	

- ※ 年齢は、令和4年12月末現在の満年齢でご記入ください。
- ※ 様式に記入できないときは、別紙で提出されても結構です。
- ※ 記入事項以外の説明資料がありましたら、あわせてご送付ください。